

# ヴェーダ

V E D A (ヴェーダとは  
サンスクリット語で  
“癒し”を意味します。)

地域の皆さん向けの広報誌

## 基本理念

わたしたちは地域の中核病院として皆さんの健康を守るために、質の高い医療を提供し共に歩みます。

## 基本方針

- ・患者さんの人権と権利の尊重
- ・がん医療、救急医療、生活習慣病を中心とした医療の推進
- ・地域の医療機関、保健福祉施設との連携強化
- ・職員の働きやすい職場づくり

## 2015年度に寄せて



小松市民病院がどのような考え方で診療を行っているかについて記します。

年々増加しているがんに対して外科では内視鏡的手術や乳房温存術など、QOLの向上に重点を置いています。早期がん以外では手術のみでは根治することが困難で、抗がん剤治療や放射線治療、抗ホルモン治療などを行うことで、がん再発予防に努めています。抗がん剤治療は、外来、入院とも増加しています。さらに、乳がん、肺がんや前立腺がんを中心に放射線治療が増加しています。

がん患者さんやその家族が長期間仕事を休むと退職を迫られるなど就労に影響がでます。そのような場合に、社会保険労務士が相談に当たっていますので、がん相談支援センターに相談してください。

2012年11月1日、南加賀救急医療センターとしてオープンして以来、脳循環障害、心臓疾患、交通事故等重症患者さんの搬送件数が増加しています。一方、軽症、中等症の患者さんが当院に隣接する南加賀急病センターを受診するようになり、当院との棲み分けが出来てきています。

これからも生活習慣病、小児医療、合併症を持った妊婦の分娩、急性期精神医療にも当院が中心的役割を果たして参ります。

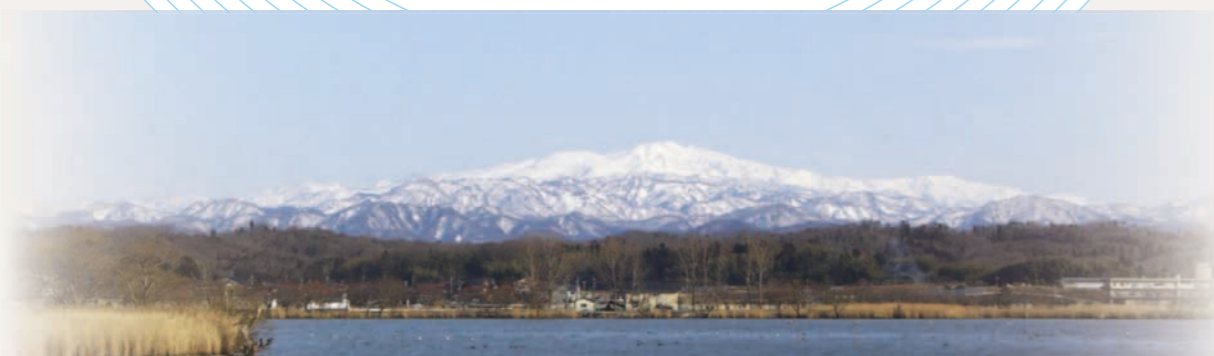
これからは地域連携が一層求められます。当院が南加賀の中核として機能を発揮できるのも、診療所、訪問看護ステーション、介護福祉施設との連携の賜物であり、関係機関の方々に感謝しております。

さらに、『働きやすい職場環境を作る』ことが小松市民病院の基本方針の一つです。このように、高度化する医療を支えているのは職員です。職員が日々の診療に打ち込んでいることに感謝し、誇りに思っています。職員が休暇を取りやすい環境をつくり、仕事に誇りと自身をもって、高度な医療やケアを提供できるように努力を惜しみません。

市民に安心と信頼の医療を提供すると同時に、職員にとって、温かい病院づくりを推進したいと思います。

国民健康保険 小松市民病院  
院長 川浦 幸光

## あなたらしく充実した人生を送れますように — 緩和ケア病棟5年間の活動と実績から —



晴れた日、雄大な白山連峰のパノラマが目に飛び込んでくる病棟ラウンジで多くの方々が癒されております。

平成21年4月、県内では石川県済生会金沢病院に次いで、10床の緩和ケア病棟が開設されました。これまでに、川浦幸光院長をはじめ開設時の病棟看護師長やスタッフには多くのご苦労があったことと思います。またソーシャルワーカーを始め、多くの職種の方々やボランティアの方々のお力添えも大きかったと思います。

1年前から勤務交替で緩和ケア病棟に配属され病棟スタッフとともに、患者さんの苦痛症状の緩和や身体的な変化による気持ちに寄り添ったり、ご家族への支援などを行っています。入院されている多くの患者さんは、痛みの不安や家族への負担を考え、退院をためらってしまいます。私たちはそのような患者さんの心境を受け止め、希望が叶えられるように退院支援や外出・外泊などで気分転換を図れるように配慮しています。

また、当院はがん診療連携拠点病院です。

平成19年（2007年）に「がん対策基本法」が施行された後はがん診療連携拠点病院の届け出要件に緩和ケアチームの設置があげられました。緩和ケアが「病状が終末期の状態になった時だけでなく、診断後から早期に提供されるべき医療」として位置づけられ、一般病棟においても緩和ケアチーム活動が行われるようになりました。

「こころ」にも「からだ」にもやさしいがん医療を実践していくことが大事と思っています。これからも緩和ケア病棟をもつ小松市民病院が地域の皆様に信頼され愛される病院として認められるように努力して参ります。

緩和ケア病棟看護師長 地井 和美

### スタッフの 声

- 当病棟では季節に合わせたイベントがあります。私が印象に残っているのは、一昨年のクリスマス会です。いつもは自室にしかいない方が家族と共にクリスマス会を心待ちにしていた姿、せん妄状態の方が「ふるさと」の合唱を聞き涙されていた姿が印象的でした。次の季節を迎えることもわからない方も多く、患者さん、家族にとっては一つ一つのイベント、食事、ケア、過ごす時間が貴重であり、かけがえのない時間だと分かりました。自分はその時間に関わる責任と関わられる喜びを感じて勤務しています。
- 緩和ケア病棟は、その人なりの人生のエピローグ（物語）がある。家族をとっても大切に思い家族が宝物と話してくれた人。子供達には厳しくしたけれど、それは愛おしいという気持ちの現れである事。自分の辛さより残される家族の心配をしている人。自分の生活の中で輝かしいときの話を嬉しそうに話す人。家族との関係に後悔する人。ありがとう、笑顔で答えてくれる人。これまで多くの出会いと別れから、一人一人が大切な贈り物を残される家族や私達に届けてくれていると感じます。人として何を大切に生きるのかを学ばせてもらっています。
- 昨年の遺族会で、遺族の方から、「緩和ケア病棟では看護師さんが明るくて、沈んだ気持ちが癒されました」との言葉を頂きました。とっってもうれしかった。これからも、笑顔とタッチングを忘れず、患者・家族の癒しに貢献します。

### ボランティアの 声

- 平成22年から緩和ケア病棟で喫茶サービスが始まりました。ボランティア団体「おひさま」が専属でこのお手伝いをしています。心に残っている出来事の一つに、ハーモニカを趣味にしていた方に「ミニコンサート」を提案したところ大変に喜ばれ、周囲が心配するほど練習に励まれ「このまま死んでも本望」とおっしゃり、生きがいは何かと気付かされたことがあります。またある方は、最後まで周囲に「感謝の人生」を述べ伝え、私達の心がケアされていったことなど、多くの患者さんに寄り添いたくさんのことを学びました。いつどんなときでも、患者さんが大切にしてくれたことを共有できたら、尊重し大切にその生き方が実現できるようにお手伝いをさせて頂いております。

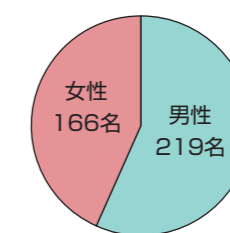
### 緩和ケア病棟の5年間の概要

1. 入院患者数385名であった。入棟経路は院内から296名、当院外来から36名、院外からの紹介53名であった。（表1参照）
2. 男女比は男性57%、女性43%であった。（図1参照）
3. 入棟者の年齢は70歳代が33%、次いで60歳代28%、80歳代が23%であった。（図2参照）

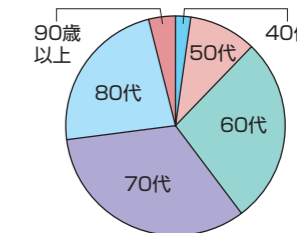
【表1】概要

入院患者数	385名
当院他病棟から	296名
当院外来から	36名
他病院から	53名

【図1】男女比



【図2】入棟者の年齢





がんサロン

かたろーさ

Kataro-sa

12月26日(金)オープン

がんサロン『Kataro-sa(かたろーさ)』の  
オープン記念講演会を行いました。



川浦病院長が「病気との付き合い方について」講演を行いました。当日は、和会やピアサポートの方々の参加がありました。講演内容は、「がんと言われた時、心体におこる変化」「病気とうまく付き合うには」などの内容でした。その後、参加者の皆さんやピアサポーター、病院職員と語り合う時間を持ちました。



『Kataro-sa(かたろーさ)』は、月曜日～金曜日に開放しています。  
がんに関する冊子もあります。ご利用ください。

● 病気とうまく付き合うには ●



- ▶ どんな病気なのか知る
- ▶ 焦りは禁物
- ▶ 医師を次々と変えるのはいけない
- ▶ 手術や治療のタイミングを逃さない
- ▶ 明るく過ごす(笑いが一番)
- ▶ 自分で出来ることは自分でする

● 最新のがん治療 ●

集学的治療につきる

- 手術
- 放射線治療
- 抗がん剤治療  
(抗ホルモン治療)
- 緩和医療

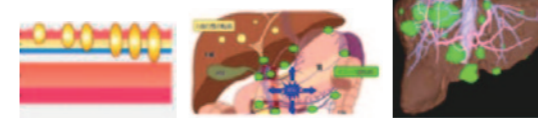


最近の外科的手術は内視鏡、腹腔鏡、胸腔鏡を用いた手術や臓器温存術が趨勢  
ただし、適応を守ることが大切



● がんに対する正しい知識(1) ●

- 腫瘍マーカーで早期発見は出来ない  
進行癌でも70%にしか陽性にならない
- 全摘術を選択したからといってがんが進行しているからとは言えない。発生部位によっても全摘術が選択される
- 同じがんでも他人と比較してはいけない
- がんの進行度はがんの深さ、リンパ節転移、多臓器への転移の有無で決まる



● がんに対する正しい知識(2) ●

- ▶ 夢の〇〇という治療法や薬剤はない
- ▶ 縮小手術は手術適応を守らないと再発する
- ▶ 何か一つを調べたらがんが分かるという診断法はない
- ▶ 手術しないで治す方法があるなど甘い言葉を信じたらいけない
- ▶ 高齢者のがんは進行しないという嘘



● がんとの共存 ●

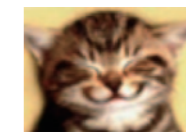
現在の考え方は

がんを根絶する治療から  
がんと共存する治療へ



● 人生で笑いが一番 ●

- 免疫細胞(ナチュラルキラー細胞)活性化→がん予防
- 血圧低下→心筋梗塞予防
- 血糖低下→糖尿病予防
- 普段から大いに笑いましょう!  
(笑う門には福来たる)



わっはっは  
わっはっは





ピアサポート **かたろーさ**  
**Kataro-sa**  
 活動カレンダー ●開室時間 平日9:00~17:00



平成27年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ピアサポーター 10:30~12:30	3 	4	5	6 すまーとの会 14:00~16:00	7
8	9	10	11	12 ピアサポーター 10:30~12:30	13	14
15	16 ピアサポーター 10:30~12:30	17	18	19	20	21 春分の日
22	23	24	25	26	27 「和会」 13:00~15:00	28
29	30	31				

平成27年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 ピアサポーター 10:30~12:30 就労支援事業 13:00~17:00	3	4
5	6 ピアサポーター 10:30~12:30	7	8	9 就労支援事業 13:00~17:00	10	11
12	13	14	15	16 ピアサポーター 10:30~12:30 就労支援事業 13:00~17:00	17	18
19	20	21	22	23 就労支援事業 13:00~17:00	24 「和会」 13:00~15:00	25
26	27 ピアサポーター 10:30~12:30	28	29 昭和の日	30 就労支援事業 13:00~17:00 		

小松市民病院 がん相談支援センター TEL:0761-22-7111

topics  
トピックス

ボランティアの方々へ、ありがとうの気持ちをこめて

小松市民病院ボランティアの方々の感謝状の授与式が12月25日(木)に行われました。  
 ボランティアの方々が安らぎと潤いを与え、快適な環境づくりに多大な貢献をされたことについて、感謝の意をこめ院長より感謝状の授与を行わせて頂きました。授与されたのはふれあい文庫、のぶき会、緩和ケアボランティアおひさま、小松能美メンボラ友の会の皆さんです。



その感謝状を授与された中から緩和ケアボランティアおひさまを代表して

今回、小松市民病院様から栄誉あるボランティア感謝状を頂き真にありがとうございました、また大変感謝しております。  
 この受賞は私個人というよりもむしろおひさまの全メンバーの献身的努力によってこそ為し得たものであり、我々全員で頂いたものと考えております。  
 平成22年からこの5年の間に沢山の志願者がありましたが、思い半ばで退会する方も多く、決して平坦な道のりばかりではありませんでした。  
 病棟の理念に「…ボランティア等からなるチームで患者さん・ご家族のケアを行います」を掲げ、我々をチームの一員として扱い、ともすると未知の分野への挑戦の難しさでくじけそうになる気持ちを励まし支え、喫茶サービスの定着に導いて下さった、院長先生初め村上先生、また師長ほか看護師の皆様、更にソーシャルワーカーや病院関係者の方々には心から感謝申し上げます。  
 まだまだ病棟側のご期待に応えられないところがあります。今回の受賞を機に心を新たにし「緩和ケアボランティアの目標」に向かって前向きに全員が一丸となり邁進したいと考えていますので、おひさまの皆様には今後ともご尽力のほどよろしくお願い致します。そして、より一層緩和ケア病棟の患者さん・ご家族のためにお役に立てるよう、また少しでも小松市民病院のために寄与できるよう頑張りたいと思いますので、病院側の皆様にはなお一層のご指導ご支援ご鞭撻のほど切にお願い申し上げます。  
 (中島 捷純)

# 慢性腎臓病 chronic kidney disease:CKD

## サポート外来のご案内

### ●慢性腎臓病(CKD)とは

腎臓の働きが健康な人の60%以下に低下するか、タンパク尿が出るといった腎臓の異常が続く状態を言います。多くの方は無症状です。

CKDは、進行すると腎不全となり透析治療や腎移植が必要となるだけでなく、心筋梗塞や脳卒中といった心血管病の重大な危険因子になっています。

### ●慢性腎臓病サポート外来での実施内容

#### 【看護師】

慢性腎臓病について  
生活改善・療養相談  
腎代替え療法選択

#### 【栄養士】

食事について

#### 【薬剤師】

薬について

#### 【検査技師】

検査値の見かた

#### 【社会福祉士】

社会福祉制度

### ●対象となる方

医師から腎臓が悪いと言われた方で、クレアチニンが高い、尿にたんぱくが下りている方

### ●開催日時

毎週火・木曜日 10:00~12:00 14:00~16:00  
※1回1時間程度

### ●費用 無料(「食事について」のみ有料)

### 参加をご希望の方は

主治医・看護師または  
透析療法室(内線2620:月~金 9:00~17:00)  
までご連絡ください。



## 編・集・後・記

少しずつ春の訪れを感じるこの頃です。病院の中庭にあるパンジーが冬の間、雪や雨の重みにじっと耐えていたのが、まっすぐに伸びて、春の風にゆれています。外来ホールには、桃やストックを使った生け花が飾られ、春を感じさせてくれます。試験、卒業、入学式、就職と新しい出会いが始まる時期ですね。いろいろと忙しい時期で体調には十分気をつけて無理しないようにしていきましょう。

 国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60  
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155  
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>  
E-mail [cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp](mailto:cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp)